

自然系学芸員シマムーの にここ通信 NO.6



朝夕めっきりと寒くなり、秋の深まりを感じますね！こんにちは、自然系学芸員のシマムーです！いよいよ浦安にも、冬の渡り鳥がやってくる季節になりました！そこで今回は、令和3年10月31日（日）に行われた「秋の野鳥観察会」について紹介していきますね。

観察を行った場所は、日の出地区。前面には大きく広がる三番瀬。背面には、40年前に埋め立てられ人の手によって作られた街区。そんな、自然と人工物が融合した場所で、この時期に現れる野鳥を観察しました。また、野鳥の解説は、長年にわたり浦安で野鳥を見続けてきたスペシャリスト「浦安野鳥の会」の東さんご夫妻にお願いをしました。今回の観察の対象は、北から渡ってきた渡り鳥と、晩秋の市街地で過ごしている野鳥です。

スズガモ



セグロカモメ幼鳥



ヒドリガモ



まずは三番瀬側で、シベリアなど北からやってくるスズガモ、ヒドリガモ、ミヤコドリを観察しました。どちらも渡りを終えて疲れをいやす様子が見られました。そして、市街地側ではシジュウカラ、ヒヨドリ、ムクドリ、スズメがさえずりながら、生息する様子が見られました。今回特に注目したのは、トビです。ここ数年で、今まで

見られなかった東京湾奥にまでトビが進出してきています。江の島などでは、人為的な餌付けの影響もあり、食べ物を持っている人への危害が起きているので、注意が必要です。

今から40年ほど前、浦安では海面の埋め立てで誕生した広野に、たくさんの木を植えました。今では植えられた木が大きく成長し、元々あった土地と変わらない風景となりました。今回の観察会を通して、三番瀬のような水辺だけでなく、陸地側も野鳥たちを受け入れる環境が整っていることを知りました。浦安でみられる野鳥の種類は、100種類を超えるそうです。みなさんも、ふらっと野鳥の観察に行ってみませんか？新しい発見がたくさんあると思いますよ！

QRコードを読み込むと「浦安市郷土博物館」のホームページが開きます。バックナンバーも読めますよ～！

